

平成29年度 自己評価書・学校関係者評価書

■ そう思う ■ どちらかといえば、そう思う ■ どちらかといえば、そう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

①豊かな心をはぐくむ教育の推進

1 一人一人の児童生徒の尊重	2 友達への思いやり	3 道徳・心の教育の充実
学校は、一人一人の子どもを大切にされた指導や対応ができていますか。	子どもは、友達となかよくしていると思いますか。	学校は、豊かな人間性を育む心の教育の充実に努めていると思いますか。(礼儀、生命尊重、思いやりなど)
【成果】保護者の肯定的回答が2年連続して3項目とも高くなった。毎月のきずなアンケートの取組など、子ども一人一人の訴えに対応している。一人一人を大切にされた細やかな指導とその成果が実感として保護者に届いている。【課題と方策】「一人一人の児童生徒の尊重」について「どちらかといえば思わない」という児童が17人いる。児童一人一人と話す時間、向き合う時間を生み出したい。		

②確かな学力を育む教育の推進

4 意欲的な学習態度	5 授業力向上	6 ICT活用
子どもは、意欲的に授業に取り組んでいると思いますか。	先生方は、わかる授業、楽しい授業づくりに努めていると思いますか。	先生方は、ICT機器を活用してわかりやすい授業づくりに努めていると思いますか。
【成果】「ICT活用」について、教職員の取組については90%の教職員が「活用している」と答えている。今後の熊本市のICT環境の充実に備えて、準備は着々と進んでいる。「授業力向上」について、保護者、児童、教職員の肯定的回答が1～3ポイント上昇した。ICTを活用した授業参観や学校便りでの啓発によって、保護者の肯定的回答がさらに増えるよう努力する。平成32年度より全面実施となる新学習指導要領にも対応できるよう、研修を通して児童の主体的な学びをめ目指し、授業改善を図る取組を継続させたい。		

③健やかな体を育む教育の推進

7 健康づくり		
子どもは、好き嫌いなく食事をし適度な運動と十分な睡眠に気をつけて生活していると思いますか。		
【成果】教職員の肯定的回答が昨年比+16ポイントとなり一昨年前の評価をも上回った。評価の下がった昨年の反省を生かし、パワーアップタイム等の導入による運動量を確保した成果である。		

①いじめ不登校などに対する相談支援体制の充実

8 児童生徒理解	9 いじめや問題への対応	②特別支援教育の推進
先生方は、子どものよさを見つけ、子どもを理解しようと努めていると思いますか。	学校では、いじめや問題があったとき、すぐに話を聞いて対応していると思いますか。	学校は、支援を必要とする子どもの教育について、共通理解を図りながら取り組んでいると思いますか。
【成果】「学校の相談支援体制」について、教職員の肯定的回答が一昨年より90→96→100と2年連続で向上し、3項目全て100%となった。タイムリーなケース会議と組織対応が機能していることが結果に結びついた。【課題と方策】「いじめや問題への対応」について、9割以上の保護者が「学校はすぐに話を聞いて対応している」と回答したものの否定的回答が1割ほどある。また、児童についても、1人の児童が「話を聞いてくれない」と回答している。いじめゼロに向けて学校全体で取り組みたい。また、いじめ等の問題解決には、保護者の理解と協力が不可欠である。学校での取組や実践が保護者に伝わるよう、速やかな報告や説明を重ねることで保護者との連携を深め、さらに信頼関係を高めていく必要がある。		

①子どもたちの身近な安全対策の充実

②最適な学習環境の整備

11 安全と事故防止

学校は、子どもの事故防止などの安全教育に取り組んでいると思いますか。

対象者	肯定的回答 (青)	肯定的回答 (赤)	肯定的回答 (緑)
保護者	35%	55%	10%
児童	75%	20%	5%
教職員	55%	40%	5%

【成果】地震復旧工事が継続中であるが、保護者、児童、教職員共に肯定的回答が2～3ポイント向上した。休み時間の遊び方や登下校時の交通安全等の丁寧な指導を今後も継続していく。

12 施設・設備の安全管理

学校の施設・設備は、安全でよく整備・管理されていると思いますか。

対象者	肯定的回答 (青)	肯定的回答 (赤)	肯定的回答 (緑)
保護者	25%	55%	20%
児童	55%	35%	10%
教職員	25%	60%	15%

【成果】新校舎が完成し、保護者、児童、教職員共に肯定的回答が4～20ポイント向上した。増加の続く児童数に対応するため、計画的な整備・管理を施し安全性を維持していく必要がある。

③家庭・地域社会との連携強化

13 教育方針・目標の理解

学校は、教育方針や教育目標などを、子どもや保護者地域にわかりやすく示していると思いますか。

対象者	肯定的回答 (青)	肯定的回答 (赤)	肯定的回答 (緑)
保護者	35%	55%	10%
児童	70%	25%	5%
教職員	35%	55%	10%

【成果】「教育方針・教育目標の理解」について教職員の肯定的回答が、昨年比10ポイント向上し98%となった。教職員の教育目標や重点努力事項への意識が高まっているので、保護者にも浸透するような実践へつなげたい。【課題と方策】保護者の9割が理解、協力しているものの、1割についてはまだ伝わっていないようである。教職員が意図的に継続して伝えることや、地域住民に目を向け地域行事等にも積極的に関わろうとする意識をさらに高めていかなければならない。

14 家庭や地域との連携協力

学校は、家庭や地域と連携・協力しながら教育活動を進めていると思いますか。

対象者	肯定的回答 (青)	肯定的回答 (赤)	肯定的回答 (緑)
保護者	35%	55%	10%
児童	70%	25%	5%
教職員	40%	50%	10%

④本校の教育

15 <徳>「仲よく 正しく」

学校は、子どもが礼儀正しくきまりを守る指導ができていますか。

対象者	肯定的回答 (青)	肯定的回答 (赤)	肯定的回答 (緑)
保護者	35%	55%	10%
児童	55%	35%	10%
教職員	40%	50%	10%

【課題と方策】「徳」「知」「体」及び「緑化」の4部会で、本校の教育目標「徳・知・体 調和のとれた児童の育成」に迫る取組を行ってきた。教職員、児童共に9割以上が肯定的回答であった。保護者については<知>「かしこく」についてが8割程度であり、3項目の中では一番低かった。しかし着実に児童の力は向上し前進してきている。学校と地域の人々、保護者が目標を共有し、一体となって地域の子どもたちを育むことで、子どもの豊かな学びを確保し、笑顔あふれる学校につながると考えている。

16 <知>「かしこく」

学校は、子どもがノート等に自分の考えを根拠や理由を示して書く指導ができていますか。

対象者	肯定的回答 (青)	肯定的回答 (赤)	肯定的回答 (緑)
保護者	25%	55%	20%
児童	55%	35%	10%
教職員	25%	60%	15%

17 <体>「強く」

学校は、子どもが進んで体を動かす指導ができていますか。

対象者	肯定的回答 (青)	肯定的回答 (赤)	肯定的回答 (緑)
保護者	45%	45%	10%
児童	65%	25%	10%
教職員	40%	50%	10%

来年度の具体的な取り組みについて

- <徳>について 仲良く正しく…礼儀正しくきまりを守る子ども
あいさつを中心に取り組み、成果は出てきている。中学校との連携の柱を中心に、継続して子どもの心を育てる取組を行っていききたい。
- <知>について かしこく…自分の考えを理由を示して書く子ども
「子どもが主体的に学ぶ授業の創造」をテーマに、授業改善に努めてきた。全職員の公開授業と視写タイムは継続させたい。また、全国学力調査で明らかになった読書量については向上を図っていききたい。
- <体>について 強く…進んで体を動かし、体力向上を目指す子ども
パワーアップタイムや体育的イベントで子ども達の体力は確実に向上している。今後もこの取組を継続させていく。
- <緑化・環境>について 相手や物を大切にしたり、働く喜びを感じたりする感性を持つ子ども 卒業式や入学式の花を自分たちの手で育てることができる。
明確な計画による取組によって、花を育てる活動が日常の学校生活に溶け込んできた。無言掃除も定着してきたので指導を継続していく。